



宮久保小学校だより

明日への扉

令和5年3月 No.28



学校教育目標：「夢に向かって挑戦」 <<Challenge for Dream>>

伝統を引き継ぐ

ここ3年の新型コロナウイルス禍においては、学年を越えて、交流する行事がかなり減ってしまっていました。子供たちは今までの取組を聞いてはいても、一緒に活動したり、実際に教えてもらったりする機会がなく、その取組を肌で感じるとることがなくなっていました。甲子園優勝仙台育英の須江監督の「青春って、すごく密なのに…」は、それを象徴するかのような言葉です。

さて、今週末の卒業式では、6年生と保護者と教職員の参加となり、在校生の出席はありません。6年生の想いを肌で感じ取ってもらおうと、明日の卒業式予行では、5年生が参加することといたしました。1年後の自分のあるべき姿を思い描きやすくすること、そして6年生の想いを引き継ぐためです。式全体の流れを、全体を通して確認する場ではありますが、5年生が「伝統を引き継ぐ」場にもなることでしょう。



お知らせ

○3月13日以降及び卒業式のマスクの取り扱いについて

文部科学省から令和4年度卒業式における参加者のマスク取り扱い及び3月13日以降のマスクの取り扱いに通知が出され、千葉県教育委員会、市川市教育委員会から、各自治体の実態に合わせて通知が届きました。

それによりますと、「学校など重症化リスクの低い方が多い施設では、換気などの基本的な感染対策により感染リスクを低減できるのであれば、マスクの着用は個人の判断とすることを基本として、感染対策を実施する。」とされ、**学校においては卒業式を除き、令和5年4月1日からの実施であることとなっております。**

通知と本校の実情に合わせ以下のようにして卒業式を実施いたします。

○卒業生 入場から退場までマスクを外して差し支えない。

呼びかけや歌を歌う時にはマスクを着用する。

○教職員 式典中マスクを着用する。

壇上で話をする、呼名等で周囲に十分な距離がとれるときは外します。

○保護者 式典中マスク着用のご協力をお願いします。

ただし、卒業生・教職員・保護者の中にも体質的にマスクの着用ができない方、またマスクを着用する生活が続き、マスクを外すことに不安を感じる卒業生もいるかと思えます。その際は個人の判断に委ねます。

また、4月1日以降のマスクの着用は個人の判断に委ねられますが、新たな指針等通知されましたら改めてお知らせします。

○転出情報ありましたらお知らせください

GW中までに、転出の予定がある場合はお知らせください。現6年生も対象です。現6年生は、卒業後、転出予定が発生した場合は進学先中学校にもご報告ください。
(中学1年生の学級数に影響する場合がございます。)